

- 問1 宮崎県の産業構造や農業の特徴について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 亜熱帯の気候条件を活かし、サトウキビやマンゴーなどの商品作物の栽培と、冬の温かさを利用した観光業に特化している。
 2. 温暖な気候や広大な土地を背景に、農業産出額の半分以上を畜産業が占めており、製造業よりも第1次産業の比重が相対的に高い。
 3. 瀬戸内工業地域の一角を担っており、化学工業や機械工業などの製造品出荷額が、農業産出額を大幅に上回っている。
 4. 急峻な傾斜地を利用した段々畑において、みかんやいよかんなどの果樹栽培が盛んで、農業産出額の大部分を占めている。
- 問2 日本の諸都市の気象データにおいて、一月の平均気温が十度前後と高く、かつ七月の月降水量が三百五十ミリメートルを超える非常に多い降水量を示す都市として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 金沢市
 2. 宮崎市
 3. 札幌市
 4. 大阪市
- 問3 福岡県の産業と言えば、かつては北九州工業地帯の重化学工業が中心でしたが、近年では県庁所在地である福岡市などの都市部を中心に、どのような産業の集積が進んでいますか。適切なものを選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 火山灰が堆積した土地を利用した大規模な酪農
 2. 情報通信やソフトウェア設計
 3. ビニールハウスを用いた促成栽培による園芸農業
 4. 冷涼な気候を活かした食料品製造業
- 問4 日本の諸地域のうち、九州地方の農業産出額の内訳をまとめた統計において、米や野菜の割合を上回り、全体の約40%という最も高い割合を占めている部門として正しいものはどれですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 麦類
 2. 工芸作物
 3. 畜産
 4. 果樹
- 問5 鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。
 2. 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。
 3. 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。
 4. 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。
- 問6 宮崎平野や高知平野の位置が示された地図において、これらの地域で温暖な気候を利用し、ビニールハウスなどを使って野菜の出荷時期を通常より早める工夫が見られる場合、この農業形態は何と呼ばれるか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 促成栽培
 2. 抑制栽培
 3. 近郊農業
 4. 企業的農業
- 問7 鹿児島県において、県庁所在地の周辺に広がり、大規模な住宅団地などが造成されている、火山噴出物が堆積して形成された台地を何と呼びますか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. シラス台地
 2. 牧之原台地
 3. カルスト台地
 4. 武蔵野台地
- 問8 日本の主な工業地帯・地域を比較した統計資料において、製造品出荷額の総額が約8.5兆円と他の大工業地帯に比べて規模が小さく、産業構成の割合が機械工業約41.1%、金属工業約17.9%、食料品工業約16.5%となっている工業地帯はどこですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 京浜工業地帯
 2. 阪神工業地帯
 3. 北九州工業地帯
 4. 中京工業地帯
- 問9 日本の九州地方に位置するある県では、農業産出額の構成において「米」や「野菜」と比較して「畜産」が占める割合が非常に高く、全体の約半分に達するという特色があります。肉用牛、豚、鶏の飼育が盛んなこの県はどこですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 宮崎県
 2. 青森県
 3. 新潟県
 4. 埼玉県
- 問10 日本の諸地域に見られる伝統的な住居の工夫について述べた次の文のうち、南西諸島の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. 地面から床を高くした高床式の構造にすることで、地面からの湿気を通さないようにしている。
 2. 住居の北側や西側に「防風林(屋敷林)」を植えることで、冬の厳しい寒風を防いでいる。
 3. 屋根の傾斜を急にし、厚い茅(かや)で葺くことで、雪が滑り落ちやすくしている。
 4. 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。
- 問11 1980年から2000年にかけての九州地方における工業出荷額の内訳の変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. 食料品などの生活関連型産業が急増し、工業出荷額において電気機械を上回り首位となった。
 2. 石油化学コンビナートの増設により、化学工業の出荷額が電気機械の出荷額を大きく引き離れた。
 3. 加工組立型産業が海外移転により衰退し、再び鉄鋼や化学などの重化学工業が中心となった。
 4. 鉄鋼や化学などの基礎素材型産業の割合が減少し、電気機械などの加工組立型産業の割合が増加した。
- 問12 福岡県内の主要都市を比較した際、福岡市は県全体の面積割合が約6.9パーセントであるのに対し、人口割合は約31.4パーセントを占めています。このような都市の状況を説明した文として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
1. 県全体の面積に占める割合が大きいため、人口が多くても人口密度は低く保たれている。
 2. 県全体の面積に占める割合は小さいが、人口が高度に集中しており、人口密度が極めて高い。
 3. 面積割合に比べて人口割合が低いいため、都市部でも過疎化の問題が顕著になっている。
 4. 広大な面積を活かして人口が分散しており、県内各地で均等な人口割合となっている。
- 問13 農業産出額が約4435億円にのぼる鹿児島県の産業統計において、その約64%にあたる約2837億円を占めている、この県の農業を象徴する部門は何ですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 肉用牛や豚、鶏などの畜産
 2. 温室などを利用した促成栽培による野菜
 3. 大規模なかんがい施設を利用した米づくり
 4. サトウキビや茶などの工芸作物
- 問14 日本国内にあるアメリカ軍の専用施設の面積のうち、約70パーセントが集中して置かれている都道府県はどこですか。 (2023年 北海道公立入試 類似)
1. 鹿児島県
 2. 長崎県
 3. 沖縄県
 4. 神奈川県
- 問15 九州地方の北西部に位置するある県は、東側を福岡県、西側を長崎県に挟まれており、北側は対馬海流が流れる玄界灘、南側は日本最大の干満差で知られる有明海という、特徴の異なる二つの海に面しています。この条件に当てはまる県はどこですか。 (2025年 静岡県公立入試 類似)
1. 長崎県
 2. 佐賀県
 3. 大分県
 4. 熊本県

答え合わせ・解説

問1	答え 2 温暖な気候や広大な土地を背景に、農業産出額の半分以上を畜産業が占めており、製造業よりも第1次産業の比重が相対的に高い。	宮崎県は九州南部に位置し、黒潮の影響を受けた温暖な気候に恵まれています。この気候を活かした促成栽培のほか、広大な土地での肉用牛や豚、鶏の飼育といった畜産業が極めて盛んです。宮崎県の農業産出額の構成を見ると、畜産が圧倒的な割合を占めている点が、工業化が進んだ岡山県や果樹農業に特化した愛媛県、亜熱帯農業が中心の沖縄県との決定的な違いです。
問2	答え 2 宮崎市	太平洋側に位置する宮崎市は、沖合を流れる暖流の黒潮（日本海流）の影響を受けるため、冬でも一月の平均気温が十度前後と温暖な気候になります。また、夏から秋にかけては、湿った南東の季節風や台風の影響を強く受けるため、七月の降水量が三百五十ミリメートルを超えるなど、全国的にも極めて降水量が多いのが特徴です。札幌市は一月の気温が氷点下となり、金沢市は冬の降水量が多く、大阪市は宮崎市ほどの降水量には達しません。
問3	答え 2 情報通信やソフトウェア設計	福岡県は九州地方の経済の拠点であり、人口約154万人を擁する県庁所在地の福岡市などを中心に、高度な技術や知識を必要とするソフトウェア設計や情報通信関連の企業が数多く進出しています。これは、都市部に優秀な人材が集まりやすく、オフィスや通信環境が整っているためです。なお、促成栽培は宮崎県、大規模な酪農は北海道などで盛んな産業です。
問4	答え 3 畜産	九州地方、特に南九州では、火山灰が積み重なってできたシラス台地が広がっています。この土地は水持ちが悪く稲作にはあまり適していなかったため、畑作や肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んに行われるようになりました。その結果、全国的にも畜産の割合が非常に高いという特色を持っています。
問5	答え 2 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。	低地や谷状の地形は、河川からの取水や周囲からの湧水が得やすく、水利条件が良いのが特徴です。そのため、地図記号においても「水田」を示す記号が描かれることが一般的です。一方で、森林や工業団地などは、排水条件や地盤の安定性、広大な用地確保の観点から別の場所が選ばれる傾向にあります。
問6	答え 1 促成栽培	温暖な気候を利用して野菜の成長を早め、市場に野菜が少ない時期に出荷する栽培方法です。宮崎県のピーマンやきゅうり、高知県のなすなどが代表的です。対して、長野県や群馬県などの高冷地で出荷を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問7	答え 1 シラス台地	南九州に広く分布する、火砕流堆積物が重なってできた台地をシラス台地と呼びます。水持ちが悪いため稲作には不向きですが、鹿児島市周辺では宅地造成が進み、多くの市民が暮らす住宅地となっています。なお、カルスト台地は山口県の秋吉台などが有名で、牧之原台地は静岡県のお茶の産地として知られています。
問8	答え 3 北九州工業地帯	北九州工業地帯は、中京工業地帯（約54.6兆円）や阪神工業地帯（約31.0兆円）などの他の四大工業地帯と比較して、出荷額の規模が最も小さいことが統計上の特徴です。産業構成では、歴史的な背景から金属工業のイメージが強いものの、現代のデータでは機械工業が最大の割合を占めており、次いで金属、食料品の順になっています。この構成比と総額の規模感から判断することが求められます。
問9	答え 1 宮崎県	九州地方南部に位置する宮崎県は、シラス台地などの火山灰層が広がる地形的制約もあり、古くから広大な土地を活かした畜産業が発展してきました。全国でも有数の農業産出額を誇り、特に肉用牛や豚、ブロイラー（鶏）の生産で全国トップクラスのシェアを占めています。他の選択肢について、新潟県は米、青森県は果実（りんご）、埼玉県は近郊農業による野菜の産出額割合が高いのが特徴です。
問10	答え 4 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。	南西諸島の伝統的な民家は、サンゴ礁を利用した石垣で囲まれていることが多く、これは台風などの強風から家を守る役割を果たしています。また、屋根には風に強いとされる赤瓦が使われ、さらに瓦が吹き飛ばされないよう漆喰で継ぎ目を固めているのが外観上の大きな特徴です。急勾配の屋根は白川郷などの合掌造り、防風林は関東平野や平居などで見られる工夫です。
問11	答え 4 鉄鋼や化学などの基礎素材型産業の割合が減少し、電気機械などの加工組立型産業の割合が増加した。	九州地方では、かつて北九州工業地帯を中心に鉄鋼や化学といった「基礎素材型産業」が盛んでしたが、1980年代以降、空港周辺や高速道路沿いにIC（集積回路）などの工場が進出したことで「シリコンアイランド」と呼ばれるようになりました。これにより、電気機械や輸送用機械に代表される、部品を組み立てて製品を作る「加工組立型産業」の割合が大きく上昇し、産業構造の転換が起きました。
問12	答え 2 県全体の面積に占める割合は小さいが、人口が高度に集中しており、人口密度が極めて高い。	福岡市は福岡県内において、面積の割合に比べて居住する人口の割合が非常に高いことが特徴です。このように、限られた土地に多くの人や都市機能が集中することを「人口の集中」と呼び、単位面積あたりの人口である「人口密度」が他地域に比べて著しく高くなります。統計上、面積割合の約4.5倍もの人口割合を抱えていることから、高度な都市化が進んでいることがわかります。
問13	答え 1 肉用牛や豚、鶏などの畜産	鹿児島県は、シラス台地という地理的条件を背景に、広大な土地を活用した畜産業を主軸としています。豚の飼育頭数は全国1位、肉用牛も全国トップクラスを誇り、食料供給基地としての役割を担っています。選択肢にあるサトウキビは沖縄県や鹿児島県の離島で盛んですが、県全体の産出額の割合で見ると畜産が圧倒的です。
問14	答え 3 沖縄県	日本の国土面積に占める割合は約0.6%にすぎないにもかかわらず、在日米軍専用施設の多くがこの県に集中しています。これは第二次世界大戦後のアメリカによる統治や、地理的な重要性が背景にあります。現在も騒音問題や事故、基地負担の軽減が重要な政治課題となっています。
問15	答え 2 佐賀県	九州地方の北西部において、福岡県と長崎県の間に位置し、北と南で異なる海（玄界灘と有明海）に面しているのは佐賀県です。南側の有明海は遠浅の干潟が発達しており、ノリの養殖が盛んである一方、北側の玄界灘は対馬海流の影響を受けるなど、一つの県の中で多様な自然環境を有しているのが特徴です。

問1 日本の諸地域の気候を比較したとき、那覇市の平均気温や降水量の特色について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年

栃木県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。 | 2. 亜熱帯に近い気候のため、年間の降水量は日本で最も少ない部類に入る高松市よりも、すべての月において下回ることはない。 | 3. 夏と冬の気温差が非常に大きく、札幌市などの北日本の都市と同様に、冬の降水量が1年の中で最も多くなる。 | 4. 年間の平均気温は福岡市などの九州地方の都市よりも低くなるが、梅雨や台風の影響で年間の降水量は非常に多い。 |
|--|--|---|---|

問2 宮崎県において、農業産出額に占める畜産の割合が他の都道府県と比較して際立って高い理由として、自然環境や土地利用の背景をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 年間を通して降水量が極めて少なく乾燥しているため、農作物の栽培よりも家畜の管理に適している。 | 2. 広大なシラス台地が広がり水田稲作に適さない土地が多いため、広域な土地を利用した家畜の飼育が行われてきた。 | 3. 大消費地である東京圏に隣接しており、鮮度が重要な生乳や精肉を短時間で出荷できる有利な立地条件にあるため。 | 4. 冬の寒さが厳しく、ビニールハウスを利用した施設園芸農業よりも、室内で行う畜産業の方が効率が良いため。 |
|---|---|---|---|

問3 九州地方南部に広がる「シラス台地」と呼ばれる火山灰の台地において、大規模な稲作よりも豚や鶏などの畜産業が盛んに行われてきた理由として、最も適切なものはどれですか。（2016年 高知県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大規模な灌漑設備を整えるよりも、家畜の餌となるトウモロコシの栽培の方が容易であったため | 2. シラス台地は標高が高く、夏季の気温が稲の成長に必要な水準まで上がらないため | 3. 火山灰が堆積した地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難であったため | 4. 台地の土壤に塩分が多く含まれており、塩害に弱い稲の栽培が不可能であったため |
|--|--|--|--|

問4 九州地方における集積回路（IC）の工場分布の特徴を述べた次の文章において、空欄に当てはまる内容として最も適切なものはどれですか。「九州の地図上で工場の分布を確認すると、それらは主に（ ）の周辺に密集している。これは、製品が小型軽量で付加価値が高いため、輸送コストよりも輸送の速さが重視されるからである」（2016年

山口県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------|---------------|------------|----------------|
| 1. 広大な土地が確保できる干拓地 | 2. 大規模な貿易港や運河 | 3. 空港や高速道路 | 4. 原料が採掘される山間部 |
|-------------------|---------------|------------|----------------|

問5 鹿児島県の南方に位置し、人口約3万人のある島に関する統計資料において、「日本最大のロケット打ち上げ施設（宇宙センター）があり、宇宙開発関連の観光が行われている」「農業ではサトウキビの生産が盛んである」と説明されている島はどこですか。（2019年 東京都公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 種子島 | 2. 奄岐島 | 3. 奄美大島 | 4. 屋久島 |
|--------|--------|---------|--------|

問6 宮崎平野できゅうりなどの栽培に用いられる、ビニールハウスなどの施設を利用して作物の成長を早め、通常の出荷時期よりも前倒しして出荷する栽培方法を何といいますか。（2023年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 近郊農業 | 2. 抑制栽培 | 3. 二毛作 | 4. 促成栽培 |
|---------|---------|--------|---------|

問7 九州南部の広範囲に見られる「シラス台地」の土壤の成り立ちと性質について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年

沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 植物の遺骸が分解されずに堆積した泥炭地であり、湿気が多い。 | 2. 河川が運んできた土砂が堆積してできており、水分を蓄える力が強い。 | 3. 大昔の貝殻やサンゴが積み重なってできており、アルカリ性が強い。 | 4. 火山の噴出物が積み重なって形成されており、水はけが非常に良い。 |
|----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|

問8 沖縄県の農業は、温暖な気候を活かした亜熱帯農業が特徴です。農業産出額の品目別割合を示した統計において、さとうきびなどの工芸作物を含む項目の割合が約40パーセントに達し、全国的に見ても独自の構成となっています。この項目に含まれる、沖縄県で生産が盛んな代表的な工芸作物はどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|-------|---------|------|
| 1. さとうきび | 2. 野菜 | 3. 稲（米） | 4. 茶 |
|----------|-------|---------|------|

問9 九州地方の北東部に位置し、別府や由布院といった日本を代表する温泉地がある大分県では、火山の熱エネルギーを直接利用した発電が行われています。この発電方法を何といいますか。（2025年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 地熱発電 | 2. 水力発電 | 3. 風力発電 | 4. 太陽光発電 |
|---------|---------|---------|----------|

問10 北海道の洞爺湖の近くにある有珠山は、たびたび噴火を繰り返す活火山ですが、周辺地域では火山と共生したまちづくりが行われています。火山が地域にもたらすマイナスの影響とプラスの影響を考慮したとき、適切な説明はどれですか。（2023年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 火山灰による農作物への被害や噴火災害の恐れがある一方で、温泉や美しい景観が観光資源となっている | 2. 火山活動によって土地が肥沃になり稲作が飛躍的に発展したが、地熱によって周辺の気温が上がりすぎる弊害がある | 3. 噴火によって流出した溶岩が平坦な土地を作るため工場誘致に有利だが、火山ガスの影響で精密機械の製造が困難である | 4. 火山灰が降り積もることで大規模な森林が形成され林業が盛んになるが、山火事が発生しやすいリスクがある |
|--|---|---|--|

問11 九州地方の西側に位置する東シナ海には、大陸から続く平坦な海底が広がっています。このような、一般に水深が200mよりも浅い海底地形を何と呼びますか。（2016年 岡山県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 砂州 | 2. 海溝 | 3. 海盆 | 4. 大陸棚 |
|-------|-------|-------|--------|

問12 鹿児島県などに広がるシラス台地において、古くから稲作よりも畑作や畜産が盛んに行われてきた理由として、土壤の性質の観点から最も適切な説明はどれですか。（2017年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 土壤に含まれる塩分濃度が高く、稲の根が枯れてしまうため | 2. 河川から運ばれた土砂が固く堆積しており、田を耕すことができないため | 3. 非常に水はけが良く、水田に必要な水を蓄えておくことが困難なため | 4. 標高が高く年間を通じて気温が低いため、稲の成長が著しく遅れるため |
|--------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。	那覇市は低緯度に位置し、周囲を海に囲まれた海洋性の気候であるため、年間を通じて平均気温が高く、夏と冬の気温差（年較差）が小さいのが特徴です。これに対し、内陸にある松本市などは放射冷却などの影響で冬の冷え込みが厳しく、気温の年較差が大きくなります。また、那覇市は梅雨や台風の影響で降水量は多い傾向にありますが、時期や年によっては他の都市よりも少なくなることもあり、常に他の都市を上回るわけではありません。
問2	答え 2 広大なシラス台地が広がり水田稲作に適さない土地が多いため、広域な土地を利用した家畜の飼育が行われてきた。	宮崎県を含む南九州には、火山の噴出物が堆積してできた「シラス台地」が広く分布しています。この土地は水持ちが悪く、かつては大規模な水田稲作には不向きであったため、水に頼りすぎない畑作や畜産業が中心となって発展しました。現在ではこの地理的条件を背景に、肉用牛や豚、鶏などの飼育頭数で全国トップクラスを誇る有数の畜産地帯となっています。東京圏への出荷については、距離が離れているため、フェリーやトラック輸送を活用した広域流通が工夫されています。
問3	答え 3 火山灰が堆積した地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難であったため	九州南部に広がるシラス台地は、過去の火山活動によって噴出した火砕流堆積物からなる台地です。この土壌は水分を保持しにくい「水はけが良い」という性質を持っており、水田に水を溜めることが難しいため、古くから稲作には不向きとされてきました。その結果、水が少なくて育つサツマイモなどの畑作や、広大な土地を利用した豚・鶏などの畜産業が発展しました。
問4	答え 3 空港や高速道路	集積回路（IC）は非常に小さく軽量の部品であり、トラックや航空機による高速輸送に適しています。そのため、九州地方では製品を迅速に出荷できるよう、交通網の拠点となる空港や高速道路のインターチェンジ付近に多くの工場が立地しています。重い原材料を運ぶ必要がある鉄鋼業や石油化学工業が臨海部に立地するのは対照的です。
問5	答え 1 種子島	鹿児島県の南方に位置する種子島は、島全域に平坦な丘陵が広がっているのが特徴です。この地形を活かして、日本最大のロケット打ち上げ施設である種子島宇宙センターが設置されており、宇宙開発は島の重要な観光資源にもなっています。また、温暖な気候を利用したサトウキビ栽培も島の主要な産業の一つです。
問6	答え 4 促成栽培	冬でも暖かい九州地方の気候を活かし、ビニールハウスできゅうりやピーマンなどを育てる方法を促成栽培と呼びます。他の産地の出荷が少ない冬から春にかけて市場に供給することで、農産物を高い価格で販売できるという利点があります。これに対し、高冷地などで収穫時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問7	答え 4 火山の噴出物が積み重なって形成されており、水はけが非常に良い。	シラス台地は、主に過去の巨大噴火による火砕流などの火山噴出物（火山灰や軽石など）が厚く積み重なって形成されました。土壌の粒が粗いため、水が地中にしみ込みやすく「水はけが良い」という特徴を持っています。この性質は、水田稲作よりも畑作に適した環境を生み出しました。
問8	答え 1 さとうきび	沖縄県は年間を通じて温暖な亜熱帯気候に属しており、他の都道府県では栽培が困難な作物が中心となっています。特に、砂糖の原料となる「さとうきび」は、加工を目的として栽培される「工芸作物」に分類されます。沖縄県ではこの工芸作物の産出額が非常に大きく、統計上でも大きな割合を占めているのが特徴です。一方で、水資源の確保が難しい島嶼部の特性などから、稲作の割合は極めて低くなっています。
問9	答え 1 地熱発電	大分県は火山活動が盛んであり、地下のマグマの熱を利用して高温の水蒸気を取り出し、タービンを回す発電方法が普及しています。これは再生可能エネルギーの一つであり、温泉地としても知られる別府などの地域特性を活かしたものです。水力発電はダムなどの水の落差を利用するもので、火山の熱を利用するものではありません。
問10	答え 1 火山灰による農作物への被害や噴火災害の恐れがある一方で、温泉や美しい景観が観光資源となっている	火山は、降灰による農作物への被害や、噴火による建物・インフラの破壊といった災害リスクを地域にもたらします。しかし同時に、有珠山周辺の洞爺湖のような美しい景観や、地熱による温泉、そして肥沃とはいえないまでも特殊な土壌を生み出すなど、観光業を中心とした大きな経済的恩恵ももたらしています。このように、自然の脅威と恵みの両面を理解することが地理学習では重要です。
問11	答え 4 大陸棚	日本列島の周辺、特に九州の西側に広がる東シナ海には、水深200m程度までの比較的浅くて平らな海底地形が続いています。これを大陸棚と呼び、日光が届きやすくプランクトンが豊富であるため、好漁場となります。一方で、水深6000mを超えるような非常に深い溝状の地形は海溝と呼ばれます。
問12	答え 3 非常に水はけが良く、水田に必要な水を蓄えておくことが困難なため	シラスは火山の噴出物からなる粒子の粗い土壌であり、水分を保持しにくい「水はけが良すぎる」という性質を持っています。常に一定の水を張っておく必要がある水田（稲作）には不向きであったため、代わりに乾燥に強いサツマイモや茶などの畑作、あるいは広大な土地を利用した肉用牛や豚などの畜産が発展しました。

- 問1 九州地方にある阿蘇山は、中央部が円形に大きく窪んだ特殊な地形を持っています。火山活動によって火山灰や溶岩が大量に噴き出したあと、その場所が陥没してできたこのような大規模な窪地を何と呼びますか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
1. カルデラ 2. シラス台地 3. リアス海岸 4. 扇状地
- 問2 沖縄県が国際的な航空貨物輸送の拠点（ハブ）としての役割を担っている理由について述べた説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 日本国内の消費地が近いため、国内向けの新鮮な農水産物を迅速に輸送するのに適しているから 2. 空港周辺に大規模な自動車工場が集積しており、部品の輸出を効率的に行う必要があるから 3. 東アジアの主要都市から約4時間以内の距離にあるという、地理的な中心性に優れているから 4. 冬でも温暖な気候を利用して、海外から輸入した熱帯果実を一時的に保管するのに適しているから
- 問3 鹿児島県を中心に分布するシラス台地において、古くから稲作よりもサツマイモなどの畑作や畜産が中心に行われてきた理由として、この土地の土壌が持つどのような性質が関係していますか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 粘土質の土壌で水を通しにくく、常に湿地状態であるため 2. 火山灰が堆積した層でできており、極めて水はけが良いため 3. 標高が高く年間を通じて気温が低いいため、稲の成長が遅いため 4. 土壌に含まれる有機物が多すぎて、稲の病気が発生しやすいため
- 問4 九州地方の自然環境と地形の成り立ちについて述べた文として、阿蘇山に見られる「カルデラ」の形成理由を正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 火山灰が長年にわたって厚く積み重なり、水はけのよい広大な台地が形成された。 2. 火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して広大なくぼ地となった。 3. 海面の上昇や地盤の沈降によって、山がちの海岸線に複雑な入り江が形成された。 4. 河川が山間部から平野部に出る場所に、土砂が堆積して扇状の緩やかな斜面ができた。
- 問5 鉄道の営業距離が約423kmあり、2004年には北西から九州新幹線が開通した鹿児島県の産業や交通の特徴について、正しい説明はどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 県庁所在地の人口は約20万人であり、公共交通機関としてのバスや路面電車はほとんど普及していない。 2. シラス台地は農業専用の地域として保護されているため、住宅地としての開発は禁止されている。 3. 東側の半島に石油備蓄基地が集中しているため、西側の薩摩半島には主要な産業施設がない。 4. 西側の薩摩半島には石油備蓄基地が立地し、周辺には鉄道も通っている。
- 問6 宮崎県において、冬でも温暖な気候を活かした農業が発達した理由を、海流の性質と地形の観点から説明した記述として最も適切なものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 寒流と暖流がぶつかる潮目にあたるため海面温度が安定し、平野部を流れる河川が常に霧を発生させて作物を保護するため。 2. 北部の山地から吹き下ろす乾燥した冷たい風が、暖流の湿った空気と混ざり合うことで、ビニールハウス内の温度を一定に保つため。 3. 沖合を流れる暖流が周囲の気温を下げにくくし、さらに北部の山地が冬の冷たい季節風を遮る役割を果たしているため。 4. 沖合を流れる寒流が夏場の気温上昇を抑える一方で、南側の平野部が日射を長時間受けることで年間平均気温が高まるため。
- 問7 九州地方の再生可能エネルギーに関する調査報告において、大分県には日本最大級の出力規模を誇る八丁原発所があることが紹介されています。この発電所が位置する自治体名を次から選びなさい。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
1. 鹿児島県霧島市 2. 熊本県阿蘇市 3. 長崎県雲仙市 4. 大分県九重町
- 問8 福岡県は、博多港と韓国の釜山（プサン）を結ぶ高速船などの国際定期航路が整備されているといった地理的特性を活かした観光が盛んです。2015年のデータにおいて、福岡県での宿泊者数が約85万人と、中国（約28万人）やアメリカ（約6万人）を大きく上回り、最も高い割合を占めている国はどこですか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 韓国 2. フィリピン 3. 台湾 4. 中国
- 問9 九州の複数の都市の産業構造を比較した際、第2次産業の就業者割合が他の都市より際立って高い都市に共通する要因として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 農林水産業に従事する人口が多く、食料品の加工が産業の中心であること 2. 金融業や保険業に従事する人口が多く、都市機能が高度に発達していること 3. 医療や福祉などのサービス業に従事する人口が多く、高齢化社会に対応していること 4. 製造業に従事する人口が多く、特に自動車関連の工場が集積していること
- 問10 九州南部の鹿児島県周辺に広がる、過去の火山活動による噴出物が厚く堆積して形成された台地を何といいますか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. 関東ローム層 2. カルデラ 3. 扇状地 4. シラス台地
- 問11 日本の各地方における農業産出額の品目別割合に関する説明として、九州地方の特徴を正しく述べているものを次から選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 他の地方と比べて米の占める割合が非常に高く、全体の半数近くを占めている。 2. 肉用牛や豚などの飼育が盛んであり、品目別割合の中で畜産の占める割合が最も高い。 3. 大都市への出荷に向けた近郊農業が盛んであり、野菜の占める割合が最も高い。 4. みかんやりんごなどの栽培が盛んであり、果実の占める割合が他の品目より突出して高い。
- 問12 九州地方に位置するある県は、陸上で隣接している県が1つのみですが、多くの島々を擁しているため、海岸線の長さが約2665kmと非常に長い特徴があります。この条件に当てはまる県として正しいものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 鹿児島県 2. 佐賀県 3. 福岡県 4. 長崎県
- 問13 人口の増減を分析する際、特定の地域において出生数が死亡数を上回ることによって生じる人口増加のことを何といいますか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 自然的増加 2. 転入超過 3. 人口密度の上昇 4. 社会的増加
- 問14 九州地方の自然環境とそれを利用した産業について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. かつて石炭産業で栄えた筑豊地域では、エネルギー革命による需要の変化に伴い、火山の地熱を熱源とした繊維工業や食料品工業への転換が進んだ。 2. 阿蘇山やくじゅう連山などの活火山が多い地理的条件を活かし、大分県などを中心に地熱エネルギーを利用した発電が盛んに行われている。 3. 九州南部に広がるシラス台地は、火山灰が降り積もってきた水持ちの良い地質であるため、古くから大規模な稲作地帯となっている。 4. 明治時代に官営の八幡製鉄所が福岡市に建設されたことで、周辺の火山から産出される鉄鉱石を利用した重化学工業が発展した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 カルデラ	阿蘇山に代表されるこの地形は、大規模な噴火によって地下のマグマが噴出したあと、空洞になった場所が重みで崩れ落ちる（陥没する）ことで形成されます。ポルトガル語で「鍋」を意味する言葉が語源となっており、日本だけでなく世界各地の火山地帯で見られる地形です。
問2	答え 3 東アジアの主要都市から約4時間以内の距離にあるという、地理的な中心性に優れているから	沖縄県は、東京、ソウル、上海、台北、香港、マニラといった東アジアを代表する主要都市から、概ね4時間以内で到達できる範囲内に位置しています。この地理的メリットは、貨物機が各地を往復して荷物を集約・再配分する航空貨物輸送の効率を最大化させるため、国際的な物流拠点として選ばれる最大の要因となっています。
問3	答え 2 火山灰が堆積した層でできており、極めて水はけが良いため	シラスの層は粒が粗く隙間が多いため、水が地下へ浸透しやすく、表面に水を溜めておく必要がある水田稲作には不向きな土地でした。そのため、乾燥に強いサツマイモや茶の栽培、あるいは広大な土地を活かした豚や肉用牛の飼育といった畜産業が発展する背景となりました。
問4	答え 2 火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して広大なくぼ地となった。	カルデラは、噴火に伴う地表の陥没によって形成される地形です。選択肢にある「火山灰が積み重なってできた台地」はシラス台地を指し、南九州（鹿児島県など）に多く見られます。阿蘇山のカルデラ内には草原が広がり、人々の居住地や耕作地、鉄道網などが整備されている点が地理的な特徴です。
問5	答え 4 西側の薩摩半島には石油備蓄基地が立地し、周辺には鉄道も通っている。	鹿児島県の西側に位置する薩摩半島には、国家石油備蓄基地（喜入基地など）が立地しており、エネルギー供給の拠点となっています。交通面では2004年の九州新幹線開通により福岡方面との時間が短縮されたほか、県庁所在地である鹿児島市（人口約61万人）では、シラス台地上の住宅地と都心を結ぶバス網や、環境に配慮した路面電車が市民の足として機能しています。
問6	答え 3 沖合を流れる暖流が周囲の気温を下げにくくし、さらに北部の山地が冬の冷たい季節風を遮る役割を果たしているため。	宮崎県が冬でも温暖なのは、低緯度に位置することに加え、太平洋を流れる暖流（黒潮）が熱を運んでくるためです。また、北部にそびえる山地が、冬に大陸から吹き付ける冷たい北西の季節風を遮る防壁のような役割を果たしていることも、平野部における温暖な気候の維持に大きく貢献しています。この環境が、冬場に野菜を作る促成栽培などの園芸農業を支えています。
問7	答え 4 大分県九重町	大分県九重町にある八丁原（はっちょうばる）発電所は、火山活動が活発な九州地方の特性を活かした日本最大級の地熱発電所です。大分県は温泉の湧出量も日本一であり、豊富な熱エネルギーを電力供給に活用している地域的な特色があります。
問8	答え 1 韓国	福岡県は九州北部に位置し、朝鮮半島との距離が非常に近いという地理的優位性を持っています。特に博多港には国際定期航路が確立されており、航空機だけでなく高速船などの船舶を利用したアクセスの良さが、韓国からの観光客が圧倒的に多いという全国的にも珍しい特徴を生み出しています。
問9	答え 4 製造業に従事する人口が多く、特に自動車関連の工場が集積していること	製造業、特に自動車の組立や部品製造を行う工場が多数立地している地域では、直接生産活動を支える労働者が必要とされるため、第2次産業の就業者が集中します。そのため、卸売・小売業などの第3次産業が中心になりやすい県庁所在地などの他の都市と比較して、第2次産業の割合が相対的に高くなるのが特徴です。
問10	答え 4 シラス台地	九州南部に分布するこの台地は、巨大な噴火による火砕流などの堆積物によって作られました。この土壌は非常に厚く堆積しており、地域の農業のあり方に大きな影響を与えています。
問11	答え 2 肉用牛や豚などの飼育が盛んであり、品目別割合の中で畜産の占める割合が最も高い。	九州地方は鹿児島県や宮崎県などを中心に肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んであり、農業産出額の品目別割合では畜産が最も高い割合を占めています。なお、米の割合が高いのは東北地方、野菜の割合が高いのは関東地方の特徴となります。
問12	答え 1 鹿児島県	九州最南端に位置する鹿児島県は、陸地では北東部で宮崎県のみと隣接しています。一方で、桜島や種子島、屋久島、奄美群島など、南北に広がる多くの島々を含んでいるため、海岸線の総延長は全国でも屈指の長さになっています。対照的に長崎県も海岸線は長いですが、佐賀県と接しており、鹿児島県ほどの長さではありません。
問13	答え 1 自然的増加	出生数と死亡数の差によって生じる人口の変動を自然的増減と呼びます。出生数が死亡数を上回れば「自然的増加」、逆であれば「自然的減少」となります。これに対し、進学・就職などの移動による増減は「社会的増減」と呼ばれ、両者を区別して理解することが重要です。
問14	答え 2 阿蘇山やくじゅう連山などの活火山が多い地理的条件を活かし、大分県などを中心に地熱エネルギーを利用した発電が盛んに行われている。	九州地方は阿蘇山や桜島などの活火山が多く、火山活動による熱エネルギーが豊富なため、大分県の八丁原発所に代表される地熱発電が盛んです。選択肢にあるシラス台地は水持ちが悪いため稲作には適さず、サツマイモなどの畑作や畜産が行われています。また、官営八幡製鉄所が建設されたのは福岡市ではなく現在の北九州市であり、筑豊炭田の石炭を利用していました。筑豊地域におけるエネルギー革命後の産業転換は、主に自動車産業の誘致などであり、地熱を利用した工業転換という記述は誤りです。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 宮崎市	太平洋側に位置する宮崎市は、沖合を流れる暖流の黒潮（日本海流）の影響を受けるため、冬でも一月の平均気温が十度前後と温暖な気候になります。また、夏から秋にかけては、湿った南東の季節風や台風の影響を強く受けるため、七月の降水量が三百五十ミリメートルを超えるなど、全国的にも極めて降水量が多いのが特徴です。札幌市は一月の気温が氷点下となり、金沢市は冬の降水量が多く、大阪市は宮崎市ほどの降水量には達しません。
問2	答え 2 鹿児島県	鹿児島県は、広大なシラス台地が広がっており、水持ちの悪い土地柄からかつては稲作が困難でした。そのため、広大な土地を活かした畜産業が発展し、現在では農業産出額に占める畜産の割合が非常に高い「畜産王国」として知られています。北海道と混同されやすいですが、九州地方という条件や、シラス台地の活用という背景から判断します。
問3	答え 4 標高の高い台地の上は水が得にくい ため畑として利用され、標高の低い 谷底の平地は水が得やすいため 田として利用される。	日本の台地における土地利用は、水へのアクセスのしやすさに大きく左右されます。標高が高い台地の上面は、地下水位が低く、周辺の河川からも高低差があるため水を引きにくいことから、乾燥に強い作物を選ぶ畑作が行われます。これに対し、台地が削られた標高の低い場所は、地下水が湧き出したり川の水を導入しやすかったりするため、古くから水田として開発されてきました。
問4	答え 4 沖縄県	日本の国土面積に占める割合は約0.6%にすぎないにもかかわらず、在日米軍専用施設の多くがこの県に集中しています。これは第二次世界大戦後のアメリカによる統治や、地理的な重要性が背景にあります。現在も騒音問題や事故、基地負担の軽減が重要な政治課題となっています。
問5	答え 2 全国平均と比べて河川の長さが 極めて短く、雨水を安定して蓄える ことが難しい地形である。	沖縄県の河川の長さの平均を全国平均と比較すると、極端に短いことがわかります。これは島嶼部特有の急峻な地形によるもので、降った雨を地表に留めておく力が弱いことを意味します。そのため、沖縄県では水不足への対策として、地下ダムの建設や海水の淡水化といった独自の取り組みが行われてきました。よくある誤答として「降水量が少ない」というものがありますが、実際には沖縄は多雨地域であるため注意が必要です。
問6	答え 3 水はけの良さを利用して、サツ マイモや飼料作物などが栽培さ れる畑になっている。	「V」の字のような地図記号は「畑」を表します。シラス台地はその地質上の特性から水が得にくく、かつては「不毛の台地」とも呼ばれましたが、その水はけの良さを逆に取り、乾燥に強いサツマイモや、現代では広大な土地を活かした畜産のための飼料作物の栽培など、大規模な畑作農業が展開されています。
問7	答え 3 暖流である対馬海流の上空で、 大陸からの冷たく乾燥した季節 風が水蒸気を蓄えて湿った空気 となり、山脈にぶつかって雪を 降らせる。	対馬海流は黒潮（日本海流）から分かれて日本海を北上する「暖流」です。冬になると、ユーラシア大陸から冷たく乾燥した北西の季節風が吹きますが、この風が比較的暖かい対馬海流の上を通過する際、海面から蒸発した大量の水蒸気を吸収します。水分を含んで湿った空気となった季節風が、日本の脊梁山脈にぶつかって上昇することで雲が発達し、日本海側に世界的な豪雪をもたらす原因となります。
問8	答え 1 冬の温暖な気候を利用して暖房 費などの生産費を抑えることで、 遠方の消費地へ運ぶための高い 輸送費を補い収益を上げている。	沖縄県は東京などの大消費地から遠いため、出荷の際の輸送費が他県よりも高くなるという不利な点があります。しかし、冬でも温暖な気候を活かせば、ビニールハウスを温めるための燃料代（生産費）を大幅に節約できます。この「節約できた生産費」によって「高い輸送費」を相殺し、他地域との競争力を保っています。9月の出荷が少ないのは、他地域でも暖房なしで生産が可能になり、沖縄の優位性がなくなるためです。
問9	答え 3 地熱発電	大分県は火山活動が盛んであり、地下のマグマの熱を利用して高温の水蒸気を取り出し、タービンを回す発電方法が普及しています。これは再生可能エネルギーの一つであり、温泉地としても知られる別府などの地域特性を活かしたものです。水力発電はダムなどの水の落差を利用するもので、火山の熱を利用するものではありません。
問10	答え 1 暖流である黒潮の影響、南東か らの湿った季節風、および台風 の通り道にあたること	九州南部の太平洋側で降水量が多くなる要因は、大きく分けて3つあります。1つ目は、付近を流れる暖流の黒潮が水蒸気を供給すること。2つ目は、夏に太平洋高気圧から吹き込む湿った南東の季節風が、九州山地などにぶつかって上昇気流を発生させること。3つ目は、夏から秋にかけて台風が接近・上陸しやすく、短期間に記録的な豪雨をもたらすことです。これらが重なるため、福岡市などの北部よりも降水量が非常に多くなります。
問11	答え 1 地熱発電	九州地方は火山帯に位置しており、地下深くにはマグマだまりが存在します。この熱によって生じた高温の蒸気や熱水を取り出し、タービンを回して発電する仕組みを地熱発電と呼びます。大分県や鹿児島県で盛んに行われており、再生可能エネルギーの一つとして注目されています。
問12	答え 2 他地域からの入荷量が少なく市 場価格が高い時期に供給し、農 家の利益を高めるため	宮崎県のような温暖な地域では、その気候条件を活かして他の地域が生産できない冬から春にかけて作物を栽培します。市場全体の入荷量が少ない時期に出荷することで、需要と供給のバランスにより価格が高騰するため、通常よりも高い収益を得ることが可能になります。このように出荷時期を調整して経済的利点を得ることが、促成栽培の大きな目的です。
問13	答え 3 シラス台地	九州地方南部は過去の巨大な火山活動の影響を強く受けており、噴出した火山灰や軽石などが広範囲にわたって堆積しました。このようにして形成された地形はシラス台地と呼ばれ、この地域特有の景観や農業のあり方を規定する大きな要因となっています。

- 問1 九州地方の農業と人口に関する統計において、人口密度が1024.1人/km²と1000人を超えて非常に高い県と、豚の産出額が723億円に達し畜産業が盛んな県の組み合わせとして、最も適切なものを選択してください。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 人口密度の高い県：沖縄県、豚の産出額が多い県：熊本県 | 2. 人口密度の高い県：福岡県、豚の産出額が多い県：大分県 | 3. 人口密度の高い県：熊本県、豚の産出額が多い県：鹿児島県 | 4. 人口密度の高い県：福岡県、豚の産出額が多い県：鹿児島県 |
|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
- 問2 鹿児島県を中心に分布する火山活動の噴出物によって形成されたシラス台地において、古くから稲作よりもサツマイモなどの畑作や畜産が中心となってきた理由として、土壌の性質を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 土壌に塩分が多く含まれており、稲の成長を妨げる性質を持っているから。 | 2. 土壌の粒子に隙間が多く水はけが非常に良いため、水田に必要な水を確保しにくいから。 | 3. 土壌の養分が過剰に含まれており、稲が病気にかかりやすいから。 | 4. 土壌が非常に硬い岩盤でできているため、農具で耕すことが困難だから。 |
|---------------------------------------|---|-----------------------------------|--------------------------------------|
- 問3 九州地方の工業の特徴について、四国地方などの近隣地域と比較した際の説明として正しいものを次の中から選びなさい。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. かつての八幡製鉄所を中心とした重化学工業から、現在は内陸部での石油化学コンビナート形成へと主流が移っている | 2. 瀬戸内工業地域とのつながりが強く、大型船の往来が可能な沿岸部での造船業が内陸工業よりも圧倒的に盛んである | 3. 九州全域で重厚長大な鉄鋼業が発展しており、高速道路は主に製鉄に必要な原材料の陸上輸送を支えている | 4. 内陸部の交通網の発達により、空港や高速道路の近くに集積回路（IC）などの工場が数多く立地している |
|--|---|---|---|
- 問4 宮崎県の自然環境と産業の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 県全体が火山灰の降り積もった広大な台地に覆われており、大規模な機械化による小麦の生産とIT産業の集積が特徴である。 | 2. 北部の山地から南へ流れる河川によって平野が形成されており、温暖な気候を背景に近年はITシステム開発企業なども立地している。 | 3. 複雑に入り組んだリアス海岸が北部に広がっており、冷涼な気候を活かしたリンゴの栽培が平野部で盛んに行われている。 | 4. 県庁所在地の人口が100万人を超えており、九州地方の政治・経済の中枢として、主に自動車産業の工場が平野部に集中している。 |
|--|--|--|---|
- 問5 鹿児島県の農業産出額は約4435億円と非常に高く、そのうちの約2837億円が畜産によって生み出されています。このように畜産の割合が極めて高い背景にある、この地域の自然環境の説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 季節風の影響を強く受けるため、寒冷な気候に強い作物の栽培が優先されたため。 | 2. 年間を通して温暖で降水量が多く、二期作などの米づくりに適しているため。 | 3. 火山噴出物が積もったシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に向きであったため。 | 4. 平野が少なく山がちであるため、急斜面を利用した果樹栽培が中心となったため |
|--|--|---|---|
- 問6 北西から南東に向かって緩やかに標高が低くなっている台地において、地形の特徴に合わせた一般的な土地利用の説明として正しいものはどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 標高にかかわらず、北西側は冬の季節風を避けるために住宅地となり、南東側はすべて畑として利用される。 | 2. 標高の高い台地の上は水が得やすいため田として利用され、標高の低い谷底の平地は浸水の危険があるため畑として利用される。 | 3. 標高の高い台地の上は水が得にくいいため畑として利用され、標高の低い谷底の平地は水が得やすいため田として利用される。 | 4. 標高の高い台地の上は果樹園として一律に利用され、標高の低い場所はすべて森林として残される。 |
|--|---|--|--|
- 問7 日本の地方別畜産産出額に関する統計において、九州地方はある品目の産出額が約3348億円に達し、北海道や東北、関東といった他の地方を大きく引き離して全国で最も高い水準にあります。この品目は何ですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|--------|--------|
| 1. 豚 | 2. 鶏 | 3. 乳用牛 | 4. 肉用牛 |
|------|------|--------|--------|
- 問8 江戸時代の対外関係において、朝鮮との貿易や外交を独占的に行う権利を幕府から認められていた藩はどこですか。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 対馬藩 | 2. 松前藩 | 3. 長州藩 | 4. 薩摩藩 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問9 九州地方南部において、稲作よりも肉用牛や豚などの畜産業が盛んになった地理的な要因として最も適切なものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------------|------------------------------------|---|
| 1. 火山灰が堆積したシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に適さなかったため。 | 2. 平地がほとんど存在せず、斜面を利用した果樹栽培しか行えなかったため | 3. 冬の寒さが厳しく、冷害によって米の収穫量が安定しなかったため。 | 4. 年間を通して降水量が極端に少なく、大規模なため池を造ることが困難だったため。 |
|---|--------------------------------------|------------------------------------|---|
- 問10 九州の北方に位置し、古くから日本列島と朝鮮半島を結ぶ海上交通の中継地となってきた島と、その付近を通り日本海へと流れ込む暖流の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|------------|------------|-------------|
| 1. 対馬・リマン海流 | 2. 壱岐・対馬海流 | 3. 対馬・対馬海流 | 4. 壱岐・日本海海流 |
|-------------|------------|------------|-------------|
- 問11 九州の北西から日本海へ流れ込む対馬海流は、日本の気候、特に冬の日本海側の気象に大きな影響を与えています。この暖流が冬に大量の雪をもたらす仕組みを説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 対馬海流の影響で冬でも海面温度が下がらないため、低気圧が急速に発達しやすくなり、日本海沿岸にだけ局地的な大雨をもたらす。 | 2. 暖流によって海水が冷やされることで上昇気流が抑えられ、乾いた風が吹き抜ける際に、山地で急激に冷却されて結晶化した雪が降る。 | 3. 寒流と暖流がぶつかることで濃い霧が発生し、その湿った空気が季節風によって内陸へと運ばれることで雪へと変化する。 | 4. 暖流である対馬海流の上空で、大陸からの冷たく乾燥した季節風が水蒸気を蓄えて湿った空気となり、山脈にぶつかって雪を降らせる。 |
|---|--|--|--|
- 問12 九州南部の宮崎県や鹿児島県では、農業産出額の約6割を畜産が占めています。このように、この地域で豚や肉用牛、鶏などの飼育が盛んになった地理的理由として最も適切なものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 海岸沿いに広がる平坦な埋立地を利用して、海外から輸入した飼料を直接加工する大規模な工場と農場が直結しているため。 | 2. 火山灰を主成分とするシラス台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に適さなかったため、広大な土地を利用できる畜産が行われるようになった。 | 3. シラス台地は栄養分が豊富な土壌であり、家畜の餌となるトウモロコシや小麦の生産が国内で最も盛んに行われたため。 | 4. 温暖な気候を利用して年に2回米を収穫する二期作が衰退し、その跡地をすべて牧草地に転換したため。 |
|---|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 人口密度の高い県：福岡県、豚の産出額が多い県：鹿児島県	福岡県は九州地方の政治・経済・文化の中心地であり、人口が約510万人に達し、人口密度も1000人/km ² を超える都市化が進んだ県です。一方で、鹿児島県はシラス台地が広がる土地条件を活かして豚や肉用牛などの畜産業が非常に盛んであり、豚の産出額は全国でも有数の規模を誇ります。
問2	答え 2 土壌の粒子に隙間が多く水はけが非常に良いため、水田に必要な水を確保しにくいから。	シラス台地を構成する火山灰や軽石は、非常に水を通しやすい性質を持っています。雨が降っても水が地中に浸透してしまい、表面に溜まらないため、大量の水を張る必要がある水田稲作には適していませんでした。この地理的条件を克服するために、水が少なくても育つサツマイモなどの栽培や、広い土地を利活用した豚や鶏などの畜産業が発展しました。
問3	答え 4 内陸部の交通網の発達により、空港や高速道路の近くに集積回路（IC）などの工場が数多く立地している	九州地方はかつて北九州工業地帯を中心とした鉄鋼などの重化学工業が盛んでしたが、1970年代以降は内陸部の交通インフラを活用したIC（集積回路）工業が発展しました。これは、空港や高速道路の整備によって、軽量で高価な精密機器を効率よく運べるようになったためです。四国地方の瀬戸内側（瀬戸内工業地域）などで見られる製鉄や石油化学、造船などの臨海型工業とは対照的に、内陸への広がりを見せているのが九州の工業的特徴です。
問4	答え 2 北部の山地から南へ流れる河川によって平野が形成されており、温暖な気候を背景に近年はITシステム開発企業なども立地している。	宮崎県の地形は、北部に山地があり、そこから南へ流れる河川によって中央部に平野が形成されているのが特徴です。産業面では、豊かな自然環境や温暖な気候を背景とした園芸農業に加え、地方への企業進出の流れの中でITシステム開発関連の企業誘致も進んでいます。なお、人口約100万人は県全体の規模であり、県庁所在地の人口は約33万人です。
問5	答え 3 火山噴出物が積もったシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。	鹿児島県（特に大隅半島や薩摩半島）には、桜島などの火山活動による堆積物でできたシラス台地が広がっています。シラス台地は水が染み込みやすく、大規模な水田を作るのが難しかったことから、古くからサツマイモや茶などの畑作、そして広大な土地を活かした肉用牛や豚の飼育といった畜産業が盛んになりました。この歴史的な土地利用の背景が、現代の高い畜産産出額につながっています。
問6	答え 3 標高の高い台地の上は水が得にくいと畑として利用され、標高の低い谷底の平地は水が得やすいため田として利用される。	日本の台地における土地利用は、水へのアクセスのしやすさに大きく左右されます。標高が高い台地の上面は、地下水位が低く、周辺の河川からも高低差があるため水を引きにくいことから、乾燥に強い作物を選ぶ畑作が行われます。これに対し、台地が削られた標高の低い場所は、地下水が湧き出したり川の水を導入しやすかったりするため、古くから水田として開発されてきました。
問7	答え 4 肉用牛	九州地方、特に鹿児島県や宮崎県は日本有数の畜産地帯です。広大な土地や気候条件を活かし、肉用牛の生産規模は全国で突出しています。一方で、乳用牛については北海道が全国の産出額の過半数を占めており、九州地方の特色とは異なります。
問8	答え 1 対馬藩	江戸幕府は「鎖国」体制下でも特定の四つの窓口（四つの口）を通じた交流を認めていました。対馬藩（宗氏）はその一つとして、朝鮮との外交実務や貿易を独占しました。ちなみに、薩摩藩は琉球、松前藩はアイヌの人々との交流をそれぞれ担当していました。
問9	答え 1 火山灰が堆積したシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に適さなかったため。	南九州には、火山の噴出物による「シラス台地」が広がっています。シラスは水はけが非常に良く、水分を蓄える力（保水力）が低いため、水を張る必要がある稲作には適していませんでした。そのため、広大な土地と温暖な気候を利用して、牛や豚を育てる畜産業や、畑作が発展しました。
問10	答え 3 対馬・対馬海流	九州の北方に位置する対馬は、朝鮮半島との距離が近く、古くから外交や貿易の要衝としての役割を果たしてきました。この対馬の近海を通り、東シナ海から日本海へと北上する暖流は対馬海流と呼ばれます。選択肢にある奄岐は対馬と九州本土の間に位置する島であり、リマン海流は日本海を南下する寒流のことです。
問11	答え 4 暖流である対馬海流の上空で、大陸からの冷たく乾燥した季節風が水蒸気を蓄えて湿った空気となり、山脈にぶつかって雪を降らせる。	対馬海流は黒潮（日本海流）から分かれて日本海を北上する「暖流」です。冬になると、ユーラシア大陸から冷たく乾燥した北西の季節風が吹きますが、この風が比較的暖かい対馬海流の上を通過する際、海面から蒸発した大量の水蒸気を吸収します。水分を含んで湿った空気となった季節風が、日本の脊梁山脈にぶつかって上昇することで雲が発達し、日本海側に世界的な豪雪をもたらす原因となります。
問12	答え 2 火山灰を主成分とするシラス台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に適さなかったため、広大な土地を利用できる畜産が行われるようになった。	九州南部に広く分布するシラス台地は、過去の巨大噴火による火山灰などが積み重なってできたものです。この地層は水はけが非常に良く、水分を保持する力が弱いため、大量の水を必要とする稲作（水田農業）には向いていませんでした。そのため、古くからサツマイモなどの畑作が行われるとともに、広大な土地を活かした豚や肉用牛、鶏などの畜産業が発展し、現在では日本有数の畜産地帯となっています。